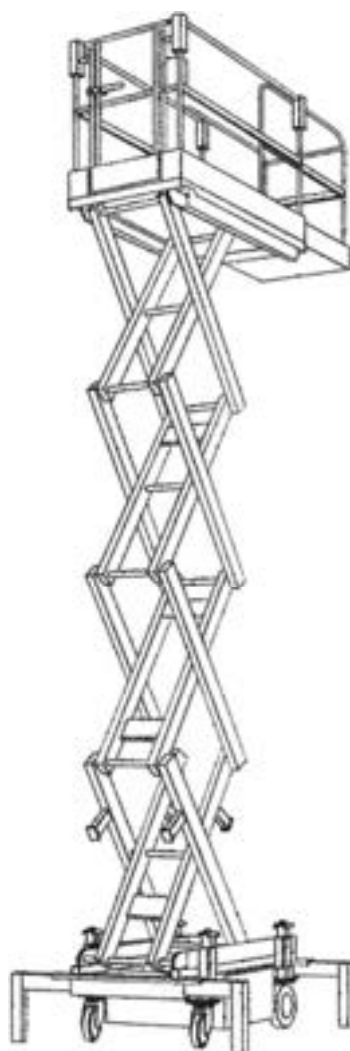



# 高所作業台 『のぼる君』

LS-60VELタイプ

## 取扱説明書

ご使用前に、必ずお読みください。



 株式会社 **シッス**

# 目 次

はじめに	・・・ P1
1. 機械の仕様	・・・ P3
2. 使用方法	・・・ P4
3. 非常時について	(非常降下バルブの使用) ・・・ P8
	(安全装置機能使用) ・・・ P9
4. 充電器の仕様	・・・ P10
5. 吊り込み方法	・・・ P11
6. 高所作業台の設置にあたって	・・・ P13
7. 使用上の注意	・・・ P13
8. 試運転	・・・ P13
9. 操作電気回路図	・・・ P14
10. 油圧回路図	・・・ P15
11. 保守・点検	・・・ P16
12. トラブルシューティング	・・・ P18
13. 各部の名称及びグリスアップ点検	・・・ P19
14. 高所作業台始業前点検記録表(使用時は毎日)	・・・ P20
15. 参考資料	・・・ P21

この取扱説明書を熟読され、弊社の高所作業台を正しく100%活用して頂き、  
貴社の明日からの尚一層のご発展につながるように心より期待しております。  
なお、本機は改良のため予告なしに変更することがあります。  
この取扱説明書と本機の間には若干の相違が生ずることがありますのでご了承ください。


# はじめに


このたびは、弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。


本機をご利用いただくにあたり、ご使用前に本取扱説明書を熟読され、常に正しい取り扱いと特長を生かした使い方をしていただければ、作業効率の向上にお役立てできるものと確信しております。

なお、本書に反するご使用は故障を起こす原因となり、危険を伴いますので、本書は大切に保管され、わからないときは再読してください。


## 【危険・警告・注意の定義】

 **危険** 記載されている事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険があり、かつ重大な危険が発生する度合いが高いことが想定される内容を示します。


 **警告** 記載されている事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示します。


 **注意** 記載されている事項を守らないと、傷害を負うかまたは物的損害が発生する危険が想定される内容を示します。

## 図記号の例

 △記号は注意(警告・危険を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の近くに文章や絵で示します。


左図の場合は“特定しない一般的な注意、警告、危険”を示します。

 ○記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な強制内容は○の近くに文章や絵で示します。

 ●記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の近くに文章や絵で示します。

左図の場合は“特定しない一般的な使用者の行為”を示します。

## 注意

※ 操作担当者は、この説明書を読み、十分に内容を理解した上で、ご使用を始めてください。 

※ 本書は、必ず操作担当者がいつでも見られる場所に保管してください。 

※ 取り扱いについて不審な点や、物品交換における点検や調整要領については、弊社または、本機をお求めになった販売店までご連絡ください。

その際、必ず製造番号・型式・製造年月もあわせてご連絡くださいますようお願い致します。

※ 安全な使用についての教育を行ってください。

※ 目的外の用途には使用しないでください。

※ みだりに分解・組立を行わないでください。

※ 作業中、作業関係者以外の者が立ち入る危害を防止するため、標識等により立ち入り禁止区域を明示

※ 作業に必要な照度を確保すること

※ 複数の高所作業台を併置し、その上に足場板等を掛渡して使用しない

※ 架空電路に近接して定置し作業するときは、絶縁防具等を装着する

●移動式高所作業台『のぼる君』は特別講習が不要です。

[理由]

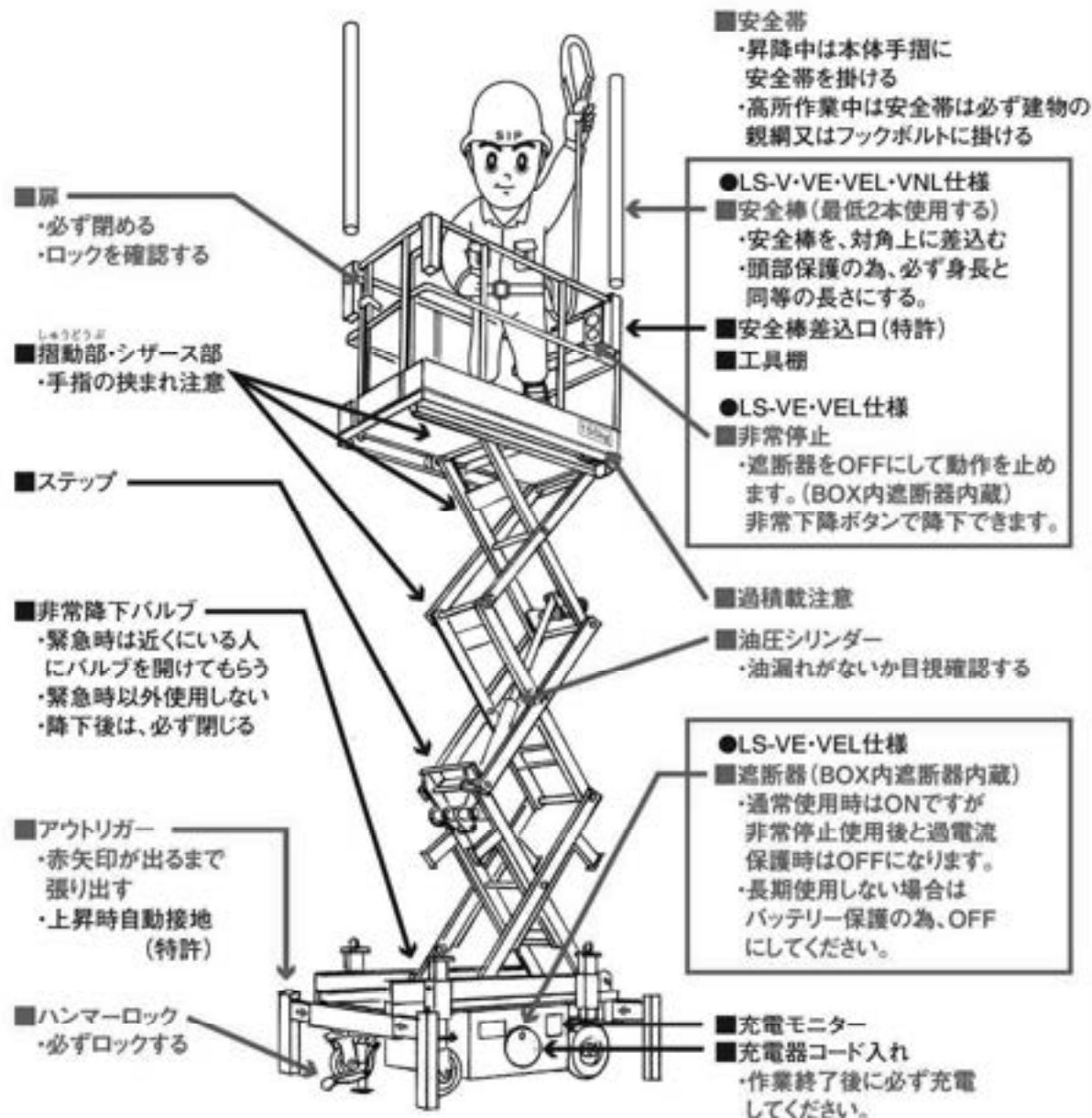
高所作業車の定義

「高所作業車」とは、高所における工事、点検、補修等の作業に使用される機械であって作業床(各種の作業を行うために設けられた人が乗ることを予定した床をいう。)及び昇降装置により構成され、当該作業床が昇降装置その他装置により上昇、下降等をする設備を有する機械のうち、動力を用い、かつ、不特定の場所に自走することができるものをいうものであること。

なお、消防機関が消防活動に使用するはしご自動車、屈折はしご自動車等の消防車は高所作業車に含まれないものであること。(平成2年9月26日 基発第583号)

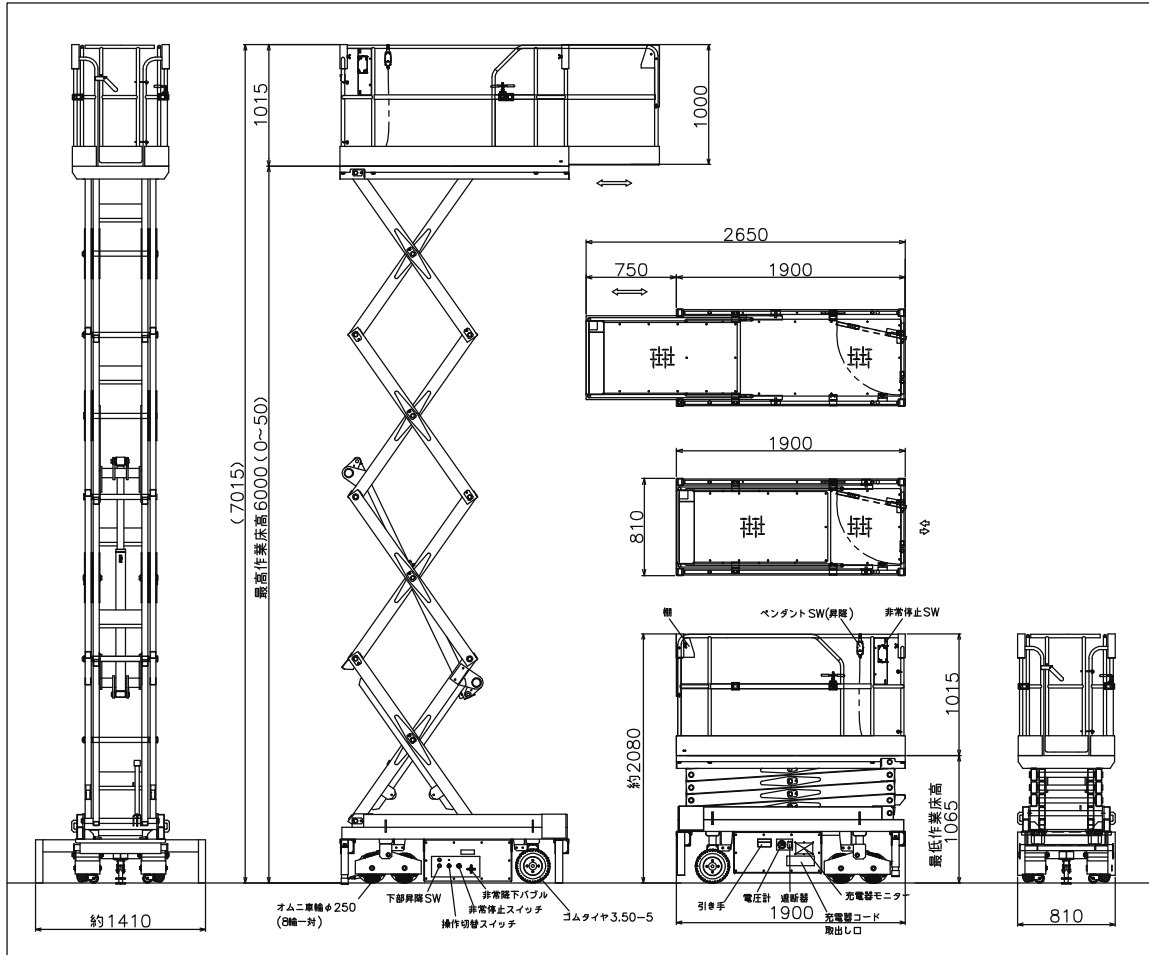
※(この項が該当しないため特別講習が不要です。)

## 【高所作業台 取扱注意事項】



- ※ 傾斜地及び地盤が軟弱な場所では使用しないで下さい。
- ※ 始業前点検を確実に行ってください。(オイル漏れ・操作ボタン・充電状態確認・充電器コードの収納)
- ※ 荷又は工具は、偏荷重、集中荷重とならないように、作業床手摺からはみ出さないこと。
- ※ 必ず人がいないか周囲を確認してから操作してください。
- ※ ペンダントスイッチの断続のON・OFFは故障しますのでやめてください。
- ※ ペンダントスイッチを引っ張らないでください。
- ※ バッテリーは自然放電しますので、未使用・保管時も約2週間に1度は必ずバッテリーチェック及び充電をしてください。
- ※ 充電中の作動はしないでください。故障します。感電する恐れがあります。  
(LS-VEL・VNL仕様は、充電中操作(昇降)できません。)
- ※ 長期使用しない場合はバッテリー保護の為、遮断器をOFFにしてください。
- ※ 遮断器の連続ON、OFFは故障の原因となります。
- ※ 取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

# 《機械の仕様 LS-60VEL》



※最大高さ6.0m以下とする。  
 ※無負荷の状態とする。

型式	LS-60VEL
最高作業床高	約6000mm(0～-20mm)
最低作業床高	約1065mm
作業台寸法	格納時 約1900mm × 約810mm
	スライド時 約2650mm × 約810mm(スライド延長約750mm)
アウトリガー張り出し	約1410mm
最大積載荷重	200kg
スライド延長時先端積載荷重	120kg
自重	約1100kg以下
電源	バッテリー DC12V 65Ah × 2
充電器	AC 100～240V 50 / 60Hz
過電流遮断機	100A ± 10%
昇降回数(満充電)	約50回
充電時間	約12時間
操作方法	ペンダントスイッチ(2PB)
昇降装置	油圧パッケージ DC24V 800W
安全装置	油圧回路リリーフ設定
	シリンダーの油圧ホース取出し部ヒューズ弁付
	非常時降下用バルブ付(油抜き)
	降下時ブザー警報
	アウトリガー上昇時自動接地(特許)
	非常停止装置
表面仕上げ	過電流遮断器
	本体 亜鉛溶融めっき 購入品についてはメーカー仕様

## 2-1. 使用方法『指差呼称でお願いします』



- ①使用前に高所作業台の損傷が無いか確認する。  
設置場所の状況を確認する。
- ・作業場所に近く無理の無い位置に設置する。
  - ・安定した場所に水平に設置する。
  - ・高所作業台の下に物が無いか確認する。
  - ・周囲が整理整頓されているか確認する。
  - ・高所作業台へ乗り降りするとき以外は、必ず扉をロックしてください。

不意に扉が回転し、身体を挟む可能性や物損事故を起こすおそれがあります。  
※最大積載荷重をこえての使用ならびに主たる用途以外の使用は行わないでください。



- ④高所作業台に乗り込む。
- ・扉を開き必ず高所作業台に向かって足元を確認し乗り込んでください。
- ※必ず安全帯を装着して使用してください。



- ⑤扉を閉める。
- ・扉を閉め、必ずロックを確認してください。



- ②ストッパーをセットする。
- ・必ずセット状態を確認してください。



- ③アウトリガーをセットする。
- ・全てのアウトリガー(4箇所又は6箇所)を必ず矢印の位置まで張出し、フックをセットしてください。



- ⑥上昇前に周囲の確認をする。
- ・周囲に障害物等が無いか確認してください。



- ⑨下スイッチを操作して下降する。  
 ・降下の際は周囲に障害物が無いか確認する。  
 ・スイッチボタンの位置を確認し操作する。



- ⑧高所作業時は安全帯を必ず使用してください。

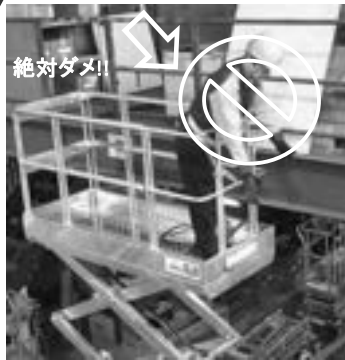


- ⑦上スイッチを操作して上昇する。  
 ・スイッチボタンの位置を確認し操作する。  
 ※上昇及び下降時は安全帯を使用してください。



- ⑩高所作業台から降りる。  
 ・高所作業台が完全に降り切ったことを必ず確認してから扉を開き、高所作業台に向かって足元を確認し降りてくだ

❌ してはならない



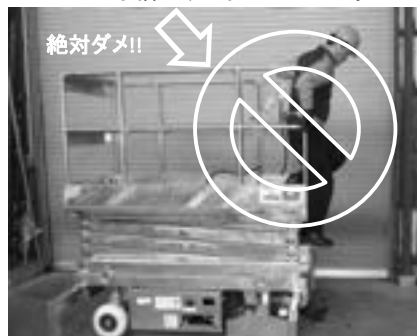
高所作業台より身を乗り出し  
 ての作業はしないでください。



高所作業台に踏み台等を載  
 せて使用しないでください。



手摺に乗らないでください。



必ず高所作業台の扉に向かって昇降を行ってください

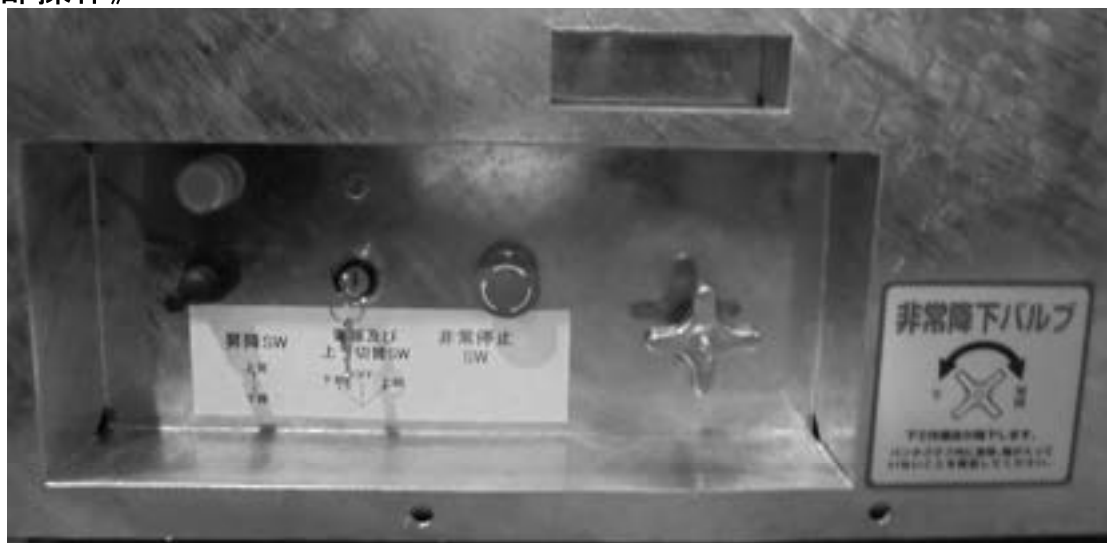
## 2-2. 操作方法

- ❗ 使用する前に、本体周辺の整理整頓を必ず行う



上昇するとアウトリガーが自動(機械)的に床面に設置するので、足及び異物が挟まらないように確認すること。  
足、異物をアウトリガー周辺に絶対に置かないこと。

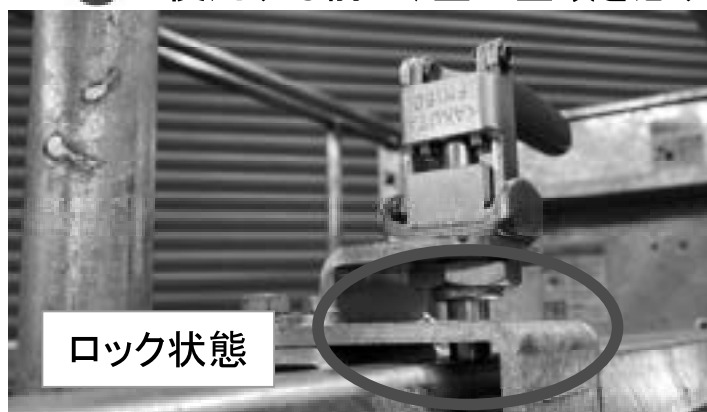
### 《下部操作》



- ・非常停止スイッチ  
『非常停止SW』…押すとその場で動作停止します。  
但し、非常降下バルブを開放中の場合は下降します。
- ・電源及び上下切替スイッチ  
『OFF』…動作できません。  
『上部』…ペンダントスイッチでの操作に切り替わります。スイッチを押すことで昇降が可能です。  
『下部』…下部操作BOXでの操作に切り替わります。昇降SWのレバーを上下することで昇降が可能

## 2-3. スライド方法

❗ 使用する前に、整理整頓を必ず行う



クランプレバーが工具棚側に倒れていると



クランプレバーを扉側に倒してロックを解除しま



スライド側のステージを押し

スライドステージを完全に出したことを確認し、ロックする。

※スライドステージを途中でロックすることは出来ません。

### 3. 非常時の降下について

❗ 下記事項以外は使用しない

- ※高所作業台の人が操作不可能の場合
- ※電気系のトラブルが発生した場合
- ※点検時のチェック

作業床が降下不能となった場合に備え、作業床を降下させる事を目的としています。

#### 操作手順

・非常降下バルブを回す。  
(左へ回すとゆっくり降下してきます)

❗ 降下後は必ず閉じてください。  
(右へ回す)



## のぼる君「LS-60VEL」の安全装置機能について

### <上部非常停止BOX>



#### ・非常停止スイッチ

非常時に押すことで電気ボックス内のブレーカーがOFFになり、バッテリーからモータ、操作回路への電源をすべて遮断します。ペンダントスイッチでの操作ができなくなるため、再び操作を行う際は、ブレーカーをONにします。非常停止を押した後に下降する際は、下記の非常時下降スイッチか

非常降下バルブを使用してください。  
※非常時のときのみ使用してください

#### ・非常時下降スイッチ

常時下降できます。  
非常停止スイッチを押してブレーカーがOFFになっているとペンダントスイッチでの下降操作が出来ませんので、このスイッチを押して下降を行ってください。

### <外部遮断機>



充電コンセント収納ボックスの上にあります。上に押し上げてON状態にすることで昇降操作が行えます。非常停止スイッチを動作させるか過電流保護が働いて遮断機がOFFになった場合、再び昇降操作をする際は遮断機を上押ししてONにしてください。

※遮断機をONにする際は、非常停止スイッチが解除されていることと過電流の原因が取り除かれていることを確認してください。解除されていない場合ONにすることができません。

※非常停止スイッチを押したことにより遮断機がOFFになった際は30秒ほど時間を空けてから遮断機をONにしてください。連続で遮断機の遮断機能が働きますと、故障の原因となります。

※正面電源ランプには連動していません。

### <電気ボックスダブルコンタクタ>



接点

接点



コンタクタ






















モータの起動用リレーを二個、直列に繋いでいます。どちらか片方に異常が発生した場合でも、正常に稼動することが可能です。

※定期点検の際、バッテリー(-)端子を外した状態で、それぞれのコンタクタの接点(左写真部)をテスターにて導通確認を行ってください。

動作していない状態で接点間の導通が見られる場合は接点が溶着している可能性があります。コンタクタの交換を行ってください。

## 4. 充電器の仕様

名称 : 650W 産業用バッテリー充電器  
 メーカー : Delta-Q 輸入元 : 株式会社ニスコ  
 品番 : IC650 DC24 MODEL  
 性能 :

入力	AC 100 ~ 240V 50 / 60Hz						
注意点	 充電中は操作(昇降)できません。						
	 過充電防止の為、充電完了後は速やかにコンセントを取外してください。						
充電時間	最大12時間						
							
<table border="0"> <tr> <td>  <b>赤点灯: 故障</b>            ディスプレイに表示されるFコードを確認してください。         </td> <td>  <b>青点灯: ACケーブル接続中</b> </td> </tr> <tr> <td>  <b>橙点滅: エラー</b>            ディスプレイに表示されるEコードを確認してください。         </td> <td>  <b>緑点滅: 充電容量 小</b>  <b>緑点灯: 充電容量 中</b> </td> </tr> <tr> <td>  <b>黄点灯: 充電中</b> </td> <td>  <b>緑点滅: 充電容量 高</b>  <b>緑点灯: 充電完了</b> </td> </tr> </table>		 <b>赤点灯: 故障</b> ディスプレイに表示されるFコードを確認してください。	 <b>青点灯: ACケーブル接続中</b>	 <b>橙点滅: エラー</b> ディスプレイに表示されるEコードを確認してください。	 <b>緑点滅: 充電容量 小</b> <b>緑点灯: 充電容量 中</b>	 <b>黄点灯: 充電中</b>	 <b>緑点滅: 充電容量 高</b> <b>緑点灯: 充電完了</b>
 <b>赤点灯: 故障</b> ディスプレイに表示されるFコードを確認してください。	 <b>青点灯: ACケーブル接続中</b>						
 <b>橙点滅: エラー</b> ディスプレイに表示されるEコードを確認してください。	 <b>緑点滅: 充電容量 小</b> <b>緑点灯: 充電容量 中</b>						
 <b>黄点灯: 充電中</b>	 <b>緑点滅: 充電容量 高</b> <b>緑点灯: 充電完了</b>						

## 5. 吊り込み方法

### 移動式高所作業台『のぼる君』 フォークリフト使用の場合の吊り込み方法



※移動式高所作業台『のぼる君』はできるだけフォークリフト本体に近づけて載せてください。  
フォークリフトでの移動は横方向のみとします。



横方向からの積みこみ

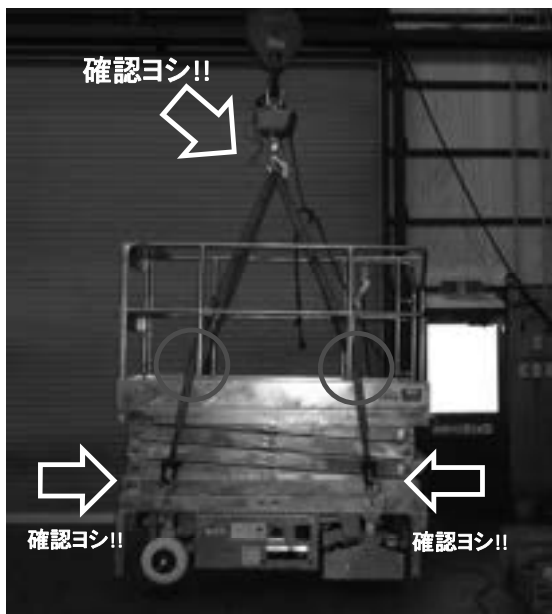


フォーク上にBOXが完全に  
乗ったことを確認のうえ、上昇  
させること



極力フォークを深くさし込んでください。

# 移動式高所作業台『のぼる君』 クレーン使用の場合の吊り込み方法



写真は4点吊りです。

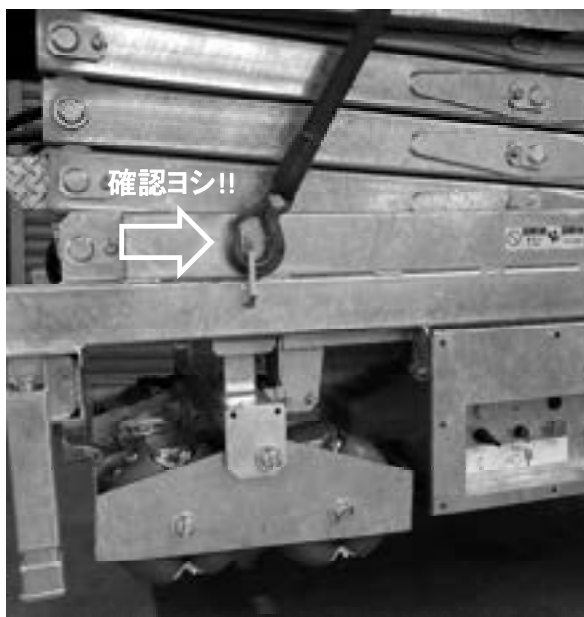


適正なスリングを使用してください。  
パイプの外側にかけてください。



吊り板(4ヶ所)あり。

4点吊りしてください。



吊り上げた状態

## 6. 高所作業台の設置にあたって

(1) 運搬・荷降ろし

警告 ▲	
運搬時は、落下・移動すると危険ですので、固定してください。	!
荷降ろしの際は仕様欄、カタログ等により機械の重量を確認し、適正な方法をお願いします。 吊り上げる際には、別写真(前頁)の通り行ってください。(フォークリフトの場合も同様)	!

(2) 設置場所

注意 ▲	
・地盤が堅固で傾斜のない場所かつ、凹凸の無い平らな場所に設置の上ご使用ください。	!
・周囲温度が-10℃~40℃でなるべく風通しの良いほこりや湿気の少ない所に設置してください。	!
・腐食性・引火性・爆発性の液体やガスのある場所でのご使用は、避けてください。また、屋外でのご使用・保管の際には、雨等がかからないよう、配慮してください。	!
・作業中、作業関係者以外の者が立ち入る危害を防止するため、柵、囲いまたは標識等により立ち入り禁止区域を明示してください。	!
・作業に必要な照度を確保してください。	!
・架空電路に近接して定置し作業するときは、絶縁防具等を装着してください。	!
・複数の高所作業台を併置し、その上に足場板等を掛渡して使用しないでください。	⊘

## 7. 使用上の注意

本機を末永くご使用頂くため、次の事項を厳守してください。

危険 ▲	
荷重は最大積載荷重以内のこと 最大積載荷重以上の荷重は、機械の損傷等、重大な事故を起こす原因となります。 最大積載荷重を超えないことを厳守してください。	!
片荷・偏荷重・集中荷重・はみ出し荷重はしないこと。 テーブルの端部だけの荷重や、一点のみの荷重・テーブルからはみ出した荷重・安定性のない品物は荷崩れ・落下・他の設備との干渉の原因となります。	!
使用中に本製品の上で壁や物を無理に押したり引いたりしないこと 無理に押したり、引いたりすると、反動で機械が不安定になり、転倒や転落、機械の損傷等、重大な事故を起こす原因となります。	!
機械の内部に物を入れないこと 機械内に物を入れると、リフトテーブル昇降中の思わぬ事故につながります。木くず・鉄くず・その他異物が機械内に入ったり触れたりしない様、十分に注意してください。	!

警告 ▲	
傾斜した場所に止めないでください。	⊘
電装部分は水で濡らさないようにしてください。	⊘
本体を倒さないでください。	⊘
引火性物質(シンナー・ガソリン・灯油・塗料)の保管場所、またはそれが気化し、滞留している場所では使用しないでください。	⊘
運転中は関係者以外の方が近寄らないこと(周囲に人がいないことを確認) 関係者以外の方が誤った運転操作をすると、思わぬ事故を起こすことがあります。 本機の定められた担当者が操作権をもち、よく合図して、安全運転をしてください。	!

注意 ▲	
非常停止スイッチの連続使用の禁止 非常停止が押されている状態で、遮断機のON・OFFを繰り返しますと故障の原因となります。 また、非常停止スイッチで遮断器をOFFにした際は30秒ほど時間を空けてONにしてください。	⊘
高所作業台へ乗り降りするとき以外は、扉を必ずロックしてください。 不意に扉が回転し身体をはさむ可能性や物損事故をおこすおそれがあります。	⊘

注意 ▲	
作業者を乗せたまま移動しないでください。	⊘
・作業床を最低の高さにして移動してください。 ・移動前に床面の凸凹、障害物等を確認してください。	!
作業後はブレーカーをOFFにし、電源コードをコンセントから取り外してください。	⊘

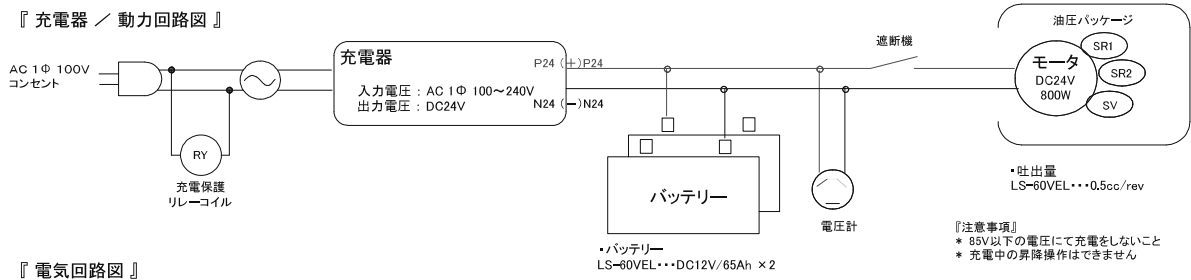
注意 ▲	
充電完了後は速やかにコンセントを取外してください。	!
充電時分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください	⊘
充電中は昇降(操作)できません。	!

## 8. 試運転

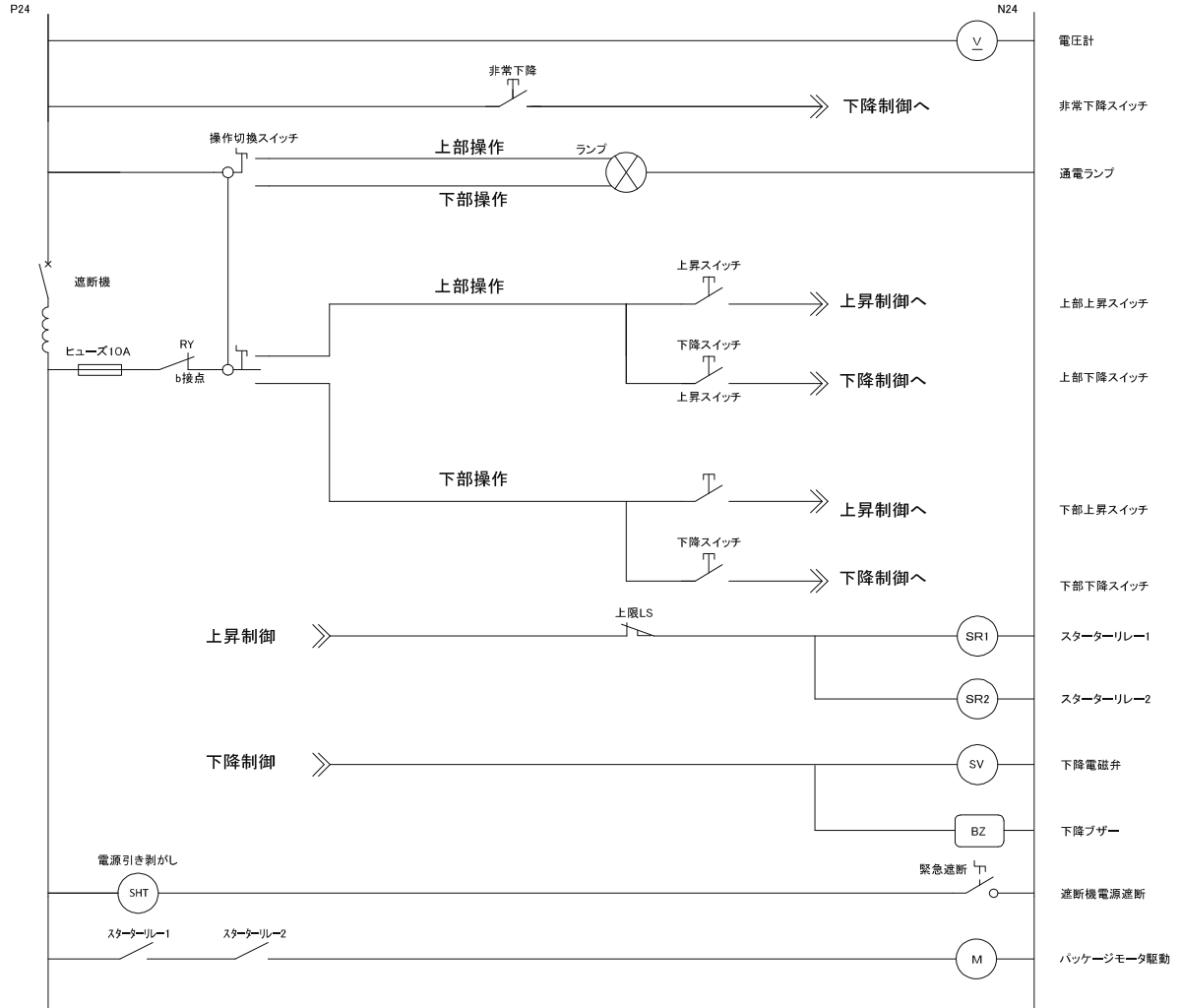
・始業前点検記録表に基づく点検実施後、非常停止スイッチが解除されていることを確認し、遮断機をONにして操作スイッチのボタンを押し、上昇/下降の動作確認を実施してください。

# 《 電気回路図 》

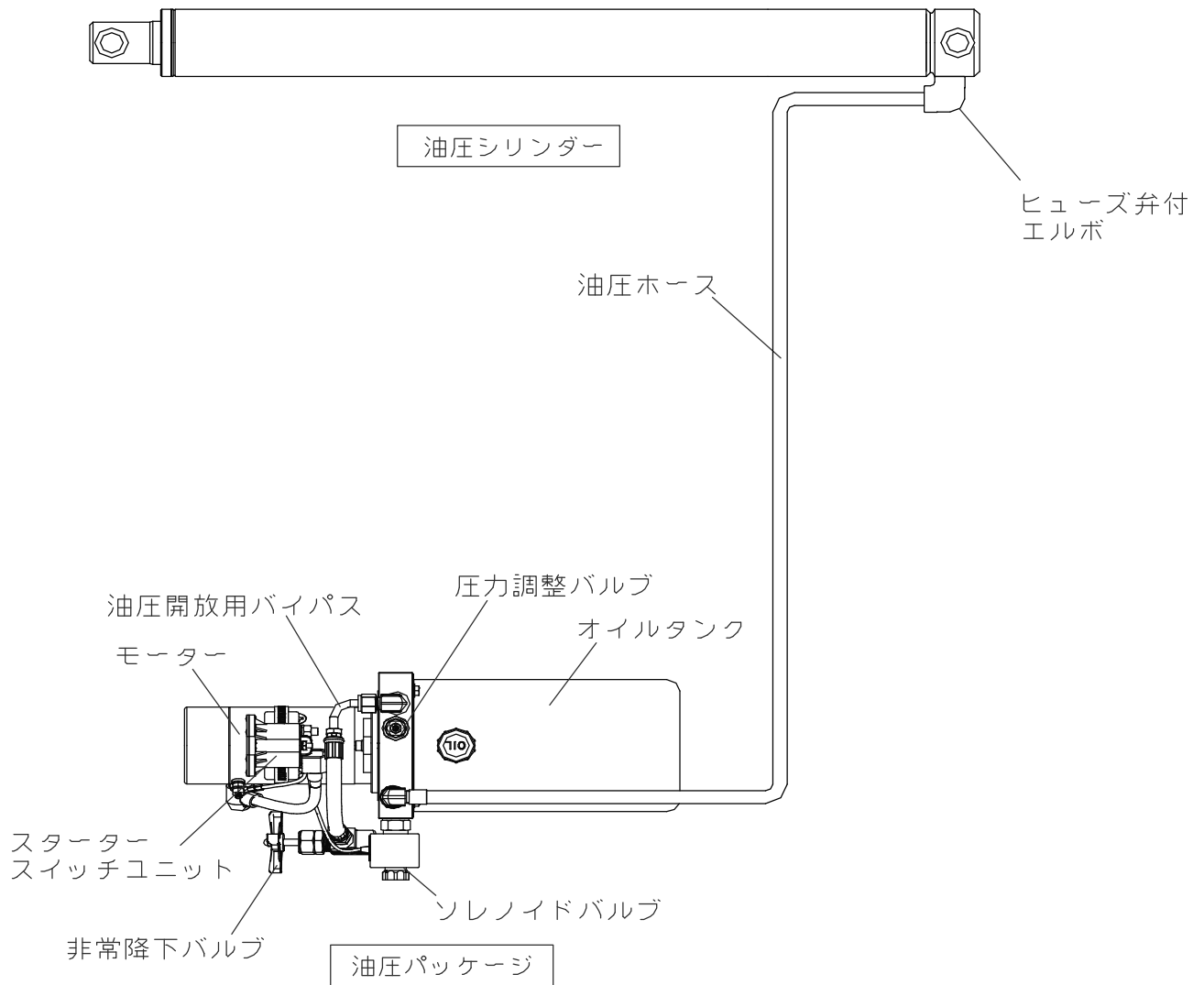
『 充電器 / 動力回路図 』



『 電気回路図 』

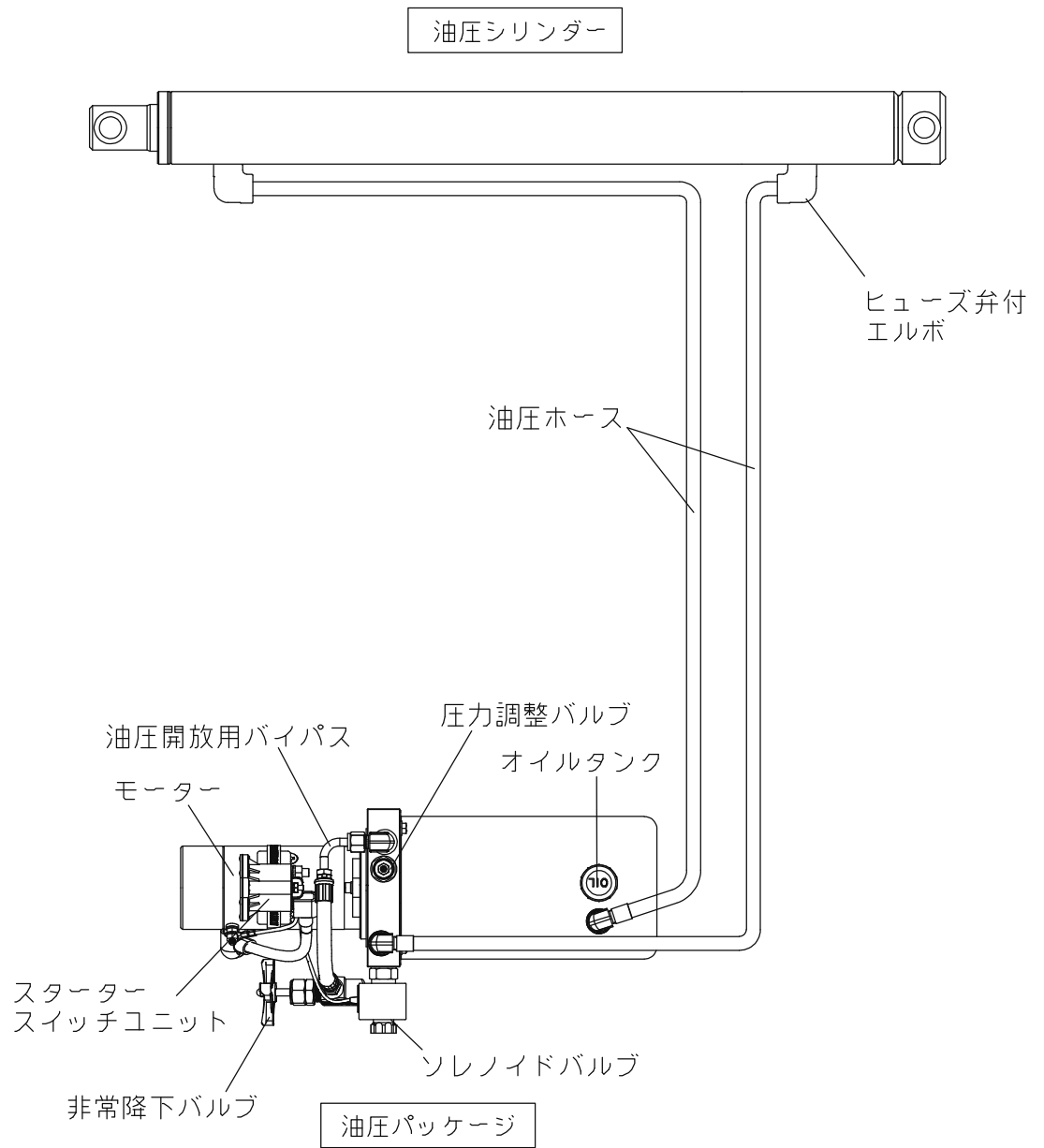


## 10. 油圧回路図



過荷重等によりヒューズ弁が作動し、安全確保の為ペンダントスイッチによる作業床の昇降操作が出来なくなる場合があります。

# 10. 油圧回路図



過荷重等によりヒューズ弁が作動し、安全確保の為ペンダントスイッチによる作業床の昇降操作が出来なくなる場合があります。

## 11. 保守・点検

油圧装置における日常点検・定期点検は一般産業機械と同様、必ず励行してください。  
特に、運転前の安全確認を怠りますと、思わぬ事故を引き起こす原因となります。

(a) 始業前点検 始業前点検記録表に基づく(別表)

- (イ) 危険防止の為、落下防止金具をセットしてから点検を行うこと。
- (ロ) 各部品に亀裂、破損及びボルト類に緩みがないか。
- (ハ) 各ピン(アーム及び油圧シリンダーの取付ピン)から異音が発生していないか。
- (ニ) 油タンクの油量は適正か。
- (ホ) 油圧機器やホース及び配管から油漏れをしていないか、また損傷がないか。
- (ヘ) 電気配線に異常はないか。

(b) 定期点検 定期検査表に基づく(弊社HPに掲載)

- (イ) 高所作業台の上昇・下降動作に異常はないか。
- (ロ) 異常音(本体・機械・ポンプ・リリーフバルブ等)はないか。
- (ハ) 油漏れはないか。

(c) 運転終了後

- (イ) 前述の(a)運転開始前の項目を再確認してください。
- (ロ) 翌日作業の為に充電器のコンセントをAC100V電源に接続し、バッテリーを充電してください。
- (ハ) 長期保管の際は、2週間程度の間隔で充電を行ってください。  
(保管の際、遮断器をOFFにした状態で保管しますと、バッテリーの消耗を抑えられます。)

### 注 意

充電完了後は速やかにコンセントを取外してください。



充電時分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください



充電中は操作(昇降)できません。



### 危 険

日常点検により、万一異常が発見された場合は、運転中であれば直ちに運転を停止し、原因を調査の上適切な処置を施し、運転を開始してください。



整備を行う際、作業床を上昇させて機械内での作業等を行う場合は、必ず下降防止措置を実施してください。

※ご使用後は必ず充電をしてください

※未使用でも自然放電しますので2週間に一度は必ずバッテリーチェック及び充電してください

(d) 油圧作動油  
油圧作動油は ISOVG#32(テラスオイル#32相当品)をご使用ください。

(e) 定期要領  
点検は、次表に従って行ってください。

点検要領表						
	点検項目	点検方法	処置	点検周期		
				日 常	毎 月	毎 十二 ヶ月
1	各部品の亀裂、破損	目視	部品の交換	○		○
2	ボルトの緩み	目視 ◎工具等による	緩んでいれば増し締め	○	◎	○
3	軸受部	作動状況により点検 (異音)	グリス給脂	○		○
4	油圧機器・配管等の油 漏れ	定期給脂	グリス給脂		○	○
		目視	油漏れのないこと	○		○
5	オイルタンクの油量	聴覚(異音)、油量	油圧作動油補充		○	○

注) 部品交換及び修理は、人身事故及び機械の損傷につながるものもありますので、要領については、弊社又はお求めになった販売店までご連絡ください。

## 12. トラブルシューティング

リフター部

(a) 上昇しない

現象	原因	対策
モーターが起動しない	バッテリーの消耗	充電する又は交換
	バッテリー遮断器がOFFになっている	非常停止が押されていないことを確認し、バッテリー遮断器をONにする
	バッテリー遮断器の故障	バッテリー遮断器の交換
	操作スイッチの故障	操作スイッチの交換
	接続電線の断線及び固定のゆるみ	配線を調べる
	モーターの故障	油圧ユニットの交換
リリーフ弁が作動する	荷が重すぎる	規定の重量以下の荷重とする
モーターが起動しても動かない	非常降下バルブが開いている	非常降下バルブを閉めてください

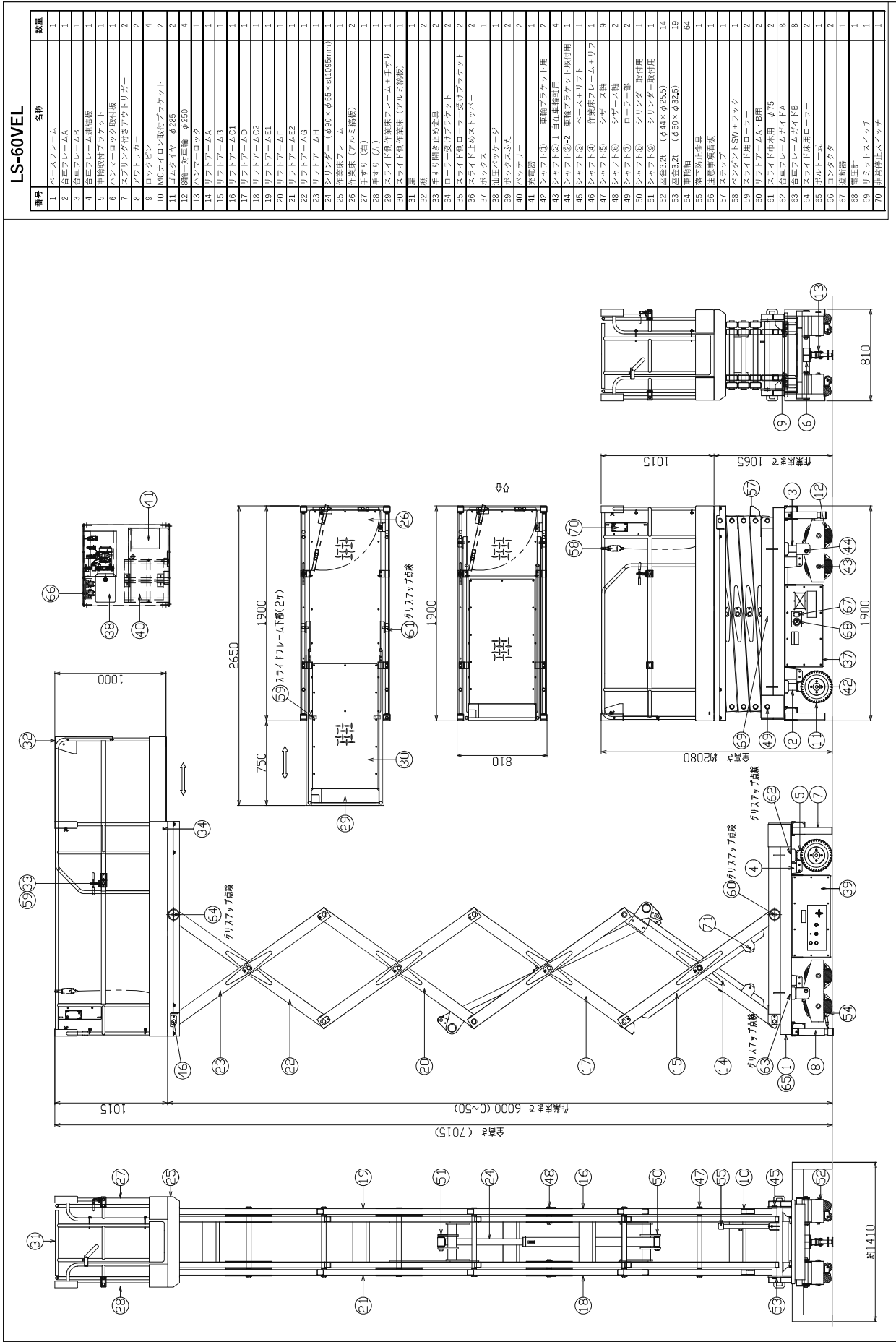
(b) 上昇するが・・・

現象	原因	対策
断続的に上昇する	エアの混入	5～6回昇降させ最下限でしばらく下降ボタンを押したままにしておく
上限まで上昇しない	油圧作動油の不足	油圧作動油の補充
停止しても自然に下降する	ソレノイドバルブに異物の混入	分解掃除、又は、バルブの交換をする。
	チェック弁に異物の混入	修理
	非常降下バルブが開いている	非常降下バルブを閉めてください
軸受部から音がでる	軸受部の油切れ	グリスの給脂
途中で止まる	配線コネクタ一部の接触不良	修理

(c) 上昇したが下降しない

現象	原因	対策
ソレノイドコイルが作動しない (カチッという切り替わり音)	接続の断線	配線を調べる
	操作スイッチの接触不良	操作スイッチの交換
	ソレノイドコイルの焼損	ソレノイドコイルの交換
ソレノイドコイルは作動するが 下降しない (カチッという切り替わり音)	電磁弁の故障	電磁弁の交換
	機械内に障害物のかみこみ	障害物を取り除く
音がしなく下降しない	接続線の接触が悪い	コネクタ一部を再点検し、配線の損傷を調べる
	シリンダー内のヒューズ弁が作動	・上昇スイッチで上昇し、再度下降スイッチで下降させるとヒューズ弁が解除になります。 ・再度行ってもヒューズ弁が解除しない場合は積載荷重オーバーの為、荷を降ろしてください。
	バッテリー遮断器がOFFになっている	非常停止ボックスの下降スイッチを押して降下してください。

### 13.各部の名称及びグリスアップ点検



### LS-60VEL

番号	名称	数量
1	ベースフレーム	1
2	治具フレームA	1
3	治具フレームB	1
4	治具フレーム取付板	1
5	重荷取付ブラケット	1
6	ハンマーロック取付板	2
7	スプリング付きアトリガー	2
8	アトリガー	4
9	ロックピン	4
10	MCナイロン取付ブラケット	2
11	ゴムタイヤ φ285	2
12	8輪-外車輪 φ260	4
13	ハンマーロック	1
14	リフトフレームA	1
15	リフトフレームB	1
16	リフトフレームC1	1
17	リフトフレームD	1
18	リフトフレームC2	1
19	リフトフレームE1	1
20	リフトフレームF	1
21	リフトフレームE2	1
22	リフトフレームG	1
23	リフトフレームH	1
24	リフトフレームI (φ90×φ55×s1(095mm))	1
25	作業床フレーム	1
26	作業床 (アルミ板)	2
27	手すり (右)	1
28	手すり (左)	1
29	スライド制御作業床フレーム+手すり	1
30	スライド制御作業床 (アルミ板)	1
31	脚	1
32	脚	2
33	手すり閉塞止め器具	2
34	ローラー受けブラケット	2
35	スライド制御ローラー受けブラケット	2
36	スライド止めストッパー	2
37	ボックス	1
38	油圧バキューム	1
39	ボックスカバー	2
40	バキューム	2
41	減速機	1
42	シフト① 重荷ブラケット	2
43	シフト②① 自在車輪軸	4
44	シフト②② 重荷ブラケット取付用	1
45	シフト③ ベース+リフト	1
46	シフト④ 作業用フレーム+リフト	1
47	シフト⑤ シフトス塊	9
48	シフト⑥ シフトス塊	2
49	シフト⑦ ローラー部	2
50	シフト⑧ シリシター取付用	1
51	シフト⑨ シリシター取付用	1
52	継ぎ足21 (φ44×φ25.5)	14
53	継ぎ足21 (φ50×φ32.5)	19
54	車輪軸	64
55	注油防止器具	1
56	注油手順板	1
57	ステップ	1
58	ペンダントSWフック	1
59	スライド制御ローラー	2
60	リフトフレームA+B用	2
61	スライド用スリーブ φ75	2
62	治具フレームガイドA	8
63	治具フレームガイドB	8
64	スライド制御ローラー	2
65	ボール一式	1
66	コシクダ	2
67	運転盤	1
68	電圧計	1
69	リフトスイッチ	1
70	移動禁止スイッチ	1

型式	LS-60VEL
図面	名称図表及びグリスアップ点検図
発行	年月日

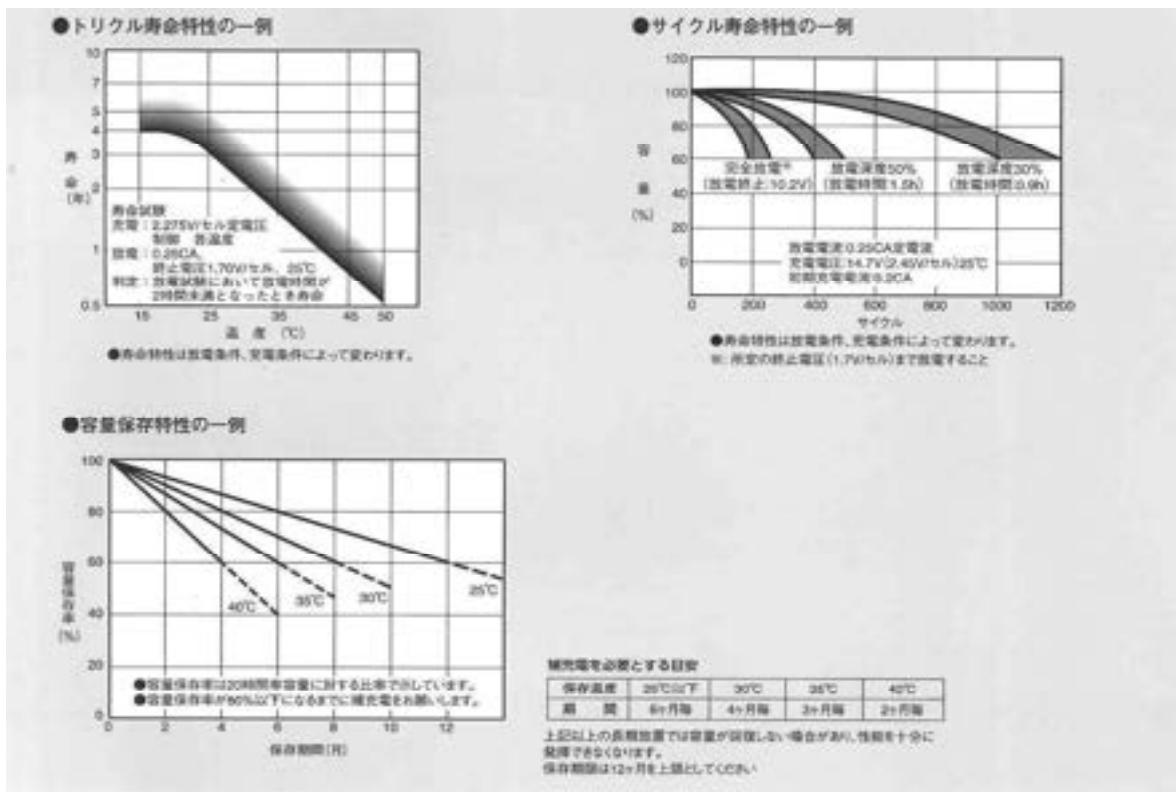


・参考資料(バッテリー)

間違った使用は、重大な災害を引き起こす危険があります。

資料検索 IPS/TS-009

一般 電池工業会  
社団法人



【交換時期の目安】

部品名及び型式	目安年数
充電器	3年
バッテリー	2年
油圧シリンダー	8年
高圧油圧ホース	4年
パワーパッケージ	7年
白タイヤ	10年
8輪一対車輪	10年
ハンマーロック	消耗品
ペンダントスイッチセット 一式	5年

※1

※レンタル会社や使用頻度が多いお客様は上記年数を参考ににご使用ください

通常使用のお客様も前後を参考ににご使用下さい

※1 配線も含め交換をお勧めいたします

※上記はその年数を保証するものではなく、交換時期の参考目安です

- ・保証について 商品を安くご提供するために、価格には保守料金を含んでおりません。故障などによる保証等に関しては以下をご確認ください。また、当該製品に起因する周辺機器や装置類及び周辺設備の損害に対してはその責を負いません。

保証期間

納入日より

1年間

但し、弊社購入品（油圧シリンダー、油圧ポンプ+モーター）は保証期間中のトラブルに関しまして部品の発送のみとなり、お客様にて部品の交換をお願い致します。部品交換を弊社にて行う場合は、工賃、交通費等を別途申し受けます。取り換え作業中の事故の発生には、弊社は一切責任を持ちません。取替方法などわからない場合は販売店又は弊社までご連絡いただき、弊社の指導に基づき、作業を行ってください。充電器・バッテリーにつきましては消耗品の為、保証対象外となります。

### 移動式高所作業台『のぼる君』保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。納品書とともに保管ください。

お名前		
ご住所		
電話番号		
納品日		
販売店		
保証期間	<b>納品日より 1年間</b>	
	保証除外品	バッテリー、充電器 但し、上記部品は発送のみとなりますのでお客様にてお取替え下さい。 お取替え後の上記部品はトラブル原因調査のため弊社へ必ずご返送下さい。

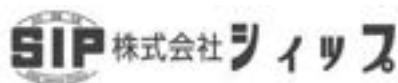
#### 無 料 修 理 規 定

- ・取扱説明書に従って正常な状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
- ・保証期間内でも、次の場合には有料となります。
  - ・保証書のご提示がない場合。
  - ・使用上の誤り、不当な修理及び、修理や改造による故障や、破損した場合。
  - ・お買い上げ後に落とされた場合などによる故障や損傷した場合。
  - ・火災、公害および地震、風水害その他天災地変など、外部要因により故障や、破損した場合。
  - ・消耗品およびこれに準ずる部品が消耗し、取り替えを要する場合。
- ・この保証書は日本国内においてのみ有効です。

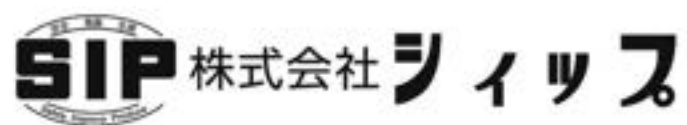
型 式 名

製造番号 No.

製造元



〒956-0802  
新潟県新潟市江秋葉区七日町1050-1  
TEL(0250)47-8711 : FAX(0250)47-8718



〒956-0802 新潟県新潟市秋葉区七日町1050-1  
TEL: (0250)47-8711 FAX: (0250)47-8718

URL <https://www.sip-n.co.jp>

